

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

018 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 500mile

第5戦 富士スピードウェイ

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆8月5日（日） RACE

決勝結果 8位

公式練習でのまさかのクラッシュで、大きなダメージを受けた ZENT CERUMO LC500。ただ、LEXUS TEAM ZENT CERUMO のメンバーはいち早く車両の修復にかかると、LEXUS TEAM ZENT CERUMO のメンバーは必死の作業を続けた。15 番手グリッドからスタートすることは確定しているが、それでもなんとしてもポイントを持ち帰りたい……。チームの思いが日付けが変わった午前 5 時 30 分ごろ、ほぼ完璧な状態に ZENT CERUMO LC500 を復旧させた。



迎えた 8 月 5 日（日）の決勝日。ZENT CERUMO LC500 の再車検も終えスタッフも満足げな表情を浮かべたが、LEXUS TEAM ZENT CERUMO にとってはもうひとつ決勝レースへの出走に向けた“課題”があった。それはクラッシュで打撲してしまった立川祐路が、メディカルチェックで OK をもらうことだ。立川は朝にチェックを受けたが、まだ痛みは残っているものの、レース出走に向けた許可が出た。

これで無事にレースに出場できることになったチームは、午前中のピットウォークで石浦宏明の SUPER GT 参戦 100 戦のお祝いのセレモニーを行い、改めて気持ちを新たに午後 0 時 55 分からのウォームアップに臨んだ。石浦はこの週

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled in Japan. 100% Pure Water.

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

未初めて ZENT CERUMO LC500 のステアリングを握ったが、修復成った ZENT CERUMO LC500 のフィーリングは悪くなさそうだ。ウォームアップで ZENT CERUMO LC500 は 9 周をこなし、1 分 31 秒 904 というベストタイムをマークした。



迎えた午後 1 時 30 分からの決勝。スタートドライバーは石浦だ。序盤は最後尾から様子をうかがいながら、まずは 5 周目、前日のクラッシュによりエンジン交換となったため、そのペナルティストップ 5 秒が課せられる。これはすでにレース前から決まっていたことであり、石浦は冷静にペナルティを消化し、ふたたび追い上げをかける。

前とは大きく差は開いてしまったが、逆に考えれば無用なバトルをせず、高いペースを保てばレース距離が長いこともあり、追い上げも可能だ。「まずは前に追いつくこと」と石浦はタイヤを気にせず、アグレッシブに攻めると、35 周を終えピットイン。立川に交代する。立川はブレーキングでその速さを生む左足のコンディションが心配されたものの、ドライビングに支障はなく、こちらでも着実に周回を重ね、いよいよライバルたちの背中を視界にとらえた。51 周目には No.3 GT-R をオーバーテイク。順位を上げる。さらに 63 周目には No.19 LC500 もパス。コンディションに問題はなさそうだ。

立川は 70 周目までドライブを続け、まずは一度目の役目を終えると、ふたたび石浦が ZENT CERUMO LC500 のステアリングを握る。ここまでは ZENT CERUMO LC500 のピット作業もノーマスで、ペースも高い。周囲のライバルにトラブルやペナルティが起きるなか、90 周を過ぎる頃になると、いよいよ 8 番手を争う集団に接近。91 周目には No.39 LC500 をパスし、さらに前に行く No.64 NSX-GT、No.100 NSX-GT の戦いに近づいた。



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled in Japan. 100% Pure Water.

HEISEI

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO



長丁場のレースのなか、自身の第2スティントをまたもミスなく終えた石浦は、108周を終えてふたたび立川にステアリングを委ねる。順位もジワジワと上がり、ZENT CERUMO LC500 は9～10番手を走行。徹夜で修復に携わったメカニック、スタッフたちの期待に応えるべく、ポイント圏内に浮上していった。

レース終盤、立川は9番手を走りながら着々と周回数をこなしていく。前後のライバルとは間隔が離れてしまったが、それでも立川は集中を切らさず、146周を終えピットイン。ふたたび石浦にステアリングを託すと、今度は首位を走っていた No.12 GT-R がガレージインしたこともあり、さらにひとつポジションアップ。これで8番手まで順位を上げると、石浦は終盤 No.23 GT-R に迫られたが、「これ以上ポイントを落とすわけにはいかない」としっかりとポジションを守り、無傷のまま ZENT CERUMO LC500 をチェッカーまで導いた。

ZENT CERUMO LC500 の結果は8位。今回はレース距離が700km以上であるため、4ポイントを持ち帰ることができた。もちろんレースに臨む前に目標としていた25ポイント＝優勝とは大きな差があるが、徹夜の作業をこなしたスタッフたちは、ホッとした表情を浮かべた。しかし、今回失ったポイントは確実にある。シーズンの残り3戦に向け、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は今度こそ優勝を目指していく。



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled in Japan. 100% Pure Water.

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／立川祐路

「まず、今日レースをすることができてホッとしています。昨日のクラッシュの直後は『しばらくクルマは直らないのではないか』と思いましたし、レースを戦うことができるとは夢にも思ってもいませんでした。チームのみんながしっかりクルマを直してくれたことに感謝したいですね。一方で、昨日クラッシュしてしまった相手の Modulo Drago CORSE が出場できなかったのも、後ろめたい部分はありましたが、やるからには中途半端なレースはできないというつもりで頑張りました。状況を考えるとエンジン交換のペナルティもあるなか、ポイントを獲得したのは本当に良かったですし、このポイントを残りのレースできっちり活かせるよう、次戦は完璧な戦いをしたいと思っています」



ドライバー／石浦宏明

「昨日は走り出しからクルマのフィーリングは良さそうだと思っていたので、きちんとクルマが直っていれば戦えると思っていた。それはウォームアップで確認できたので、ペナルティを受けてからは、どう追いつくかというのが頑張りどころだと思っていた。ペースは速かったですし、立川選手に代わってからはオーバーテイクもしてくれていたのも、良かったです。エンジニアたちとも『地道にレースするしかない』と言っていたので、できるだけこのことをして戦いました。今回は想定したとおりのレースはできたと思いますが、昨日のクラッシュだけが想定外でしたし、今週大量得点を逃す要因になったと思います。クルマは直しましたが、あれは起こってはいけなかったトラブルだと思います。他に迷惑もかけていますし、チームの一員として、チーム全体で大きく反省しなければいけないと思います。再発しないようにみんなで考えていきたいですね」



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled in Japan. 100% Pure Water.

HEISEI

トヨタ東自大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

浜島裕英監督

「まず今週末を振り返ってみると、反省点としてトラブルを出さないことがまず第一です。ただ、予選日にトラブルが起きてしまったなかで、チームスタッフ、メカニックたちがしっかりとクルマを直してくれました。そしてドライバーも短いウォームアップの時間で確認をしてくれて、競争力のあるクルマをレースに送り出すことができたと思います。結果として、みんなの努力でポイントを獲得できたのは、期待以上のものになったのではないのでしょうか。今回、持ち込みのレベルが上がっていることも確認できましたし、次戦 SUGO は優勝を狙わないといけません。ハンデの部分でも有利な面はありますし、しっかりと大量得点をして、チャンピオンシップを争いたいと思います」



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled in Japan. 100% Pure Water.

HEISEI

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

決勝結果表

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	36	au TOM'S LC500	177	1'31.185
2	1	KeePer TOM'S LC500	177	1'31.427
3	17	KEIHIN NSX-GT	177	1'31.695
4	8	ARTA NSX-GT	177	1'31.675
5	100	RAYBRIG NSX-GT	177	1'31.366
6	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	177	1'30.987
7	6	WAKO'S 4CR LC500	177	1'31.309
8	38	ZENT CERUMO LC500	177	1'31.162
9	23	MOTUL AUTECH GT-R	177	1'30.899
10	19	WedsSport ADVAN LC500	176	1'31.485
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	176	1'32.053
12	12	カルソニック IMPUL GT-R	175	1'31.310
13	64	Epson NSX-GT	166	1'31.165
14	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	162	1'31.275
15	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	139	1'31.693

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Bottled by Waco, Palmer, Japan

HEISEL

トヨタ東自大

TAMACHI